

たいが さなだまる ち しゅつじん はる ふゆ じん  
NHK大河ドラマ(真田丸)ゆかりの地へ、いざ出陣じゃ!! 2016春~冬の陣



さなだまるてん だいまる うめだ てん  
真田丸展(大丸梅田店)

ちゅうさび ねん がつ にち  
調査日: 2016年6月13日





さなだ ゆきむら

# 真田幸村ゆかりの地

ウィキペディアより～真田 信繁は、安土桃山時代から江戸時代初期にかけての武将、大名。真田留幸の次男。通称は左衛門佐て、輩行名は源二郎(源次郎)。真田幸村の名で広く知られている。

豊臣方の武将として大坂夏の陣において徳川家康の本陣まで攻め込んだ勇敢な活躍が、江戸幕府や諸大名の各史料に記録され、後世、そこから軍記物、講談、草双紙(絵本)などが創作された。さらに明治-大正期に立川文庫の講談文庫本が幅広く読まれると、真田十勇士を従えて宿敵家康に果敢に挑む英雄的武将というイメージで、庶民にも広く知られる存在となった。

天王寺～玉造～大阪城エリア

やすいじんじゃ

## 安居神社

調査日：2016年3月7日

近畿日本鉄道ホームページより～聖徳太子により四天王寺が建立された頃に創建したと伝わる古社。学問の神として崇められる菅原道真は、太宰府に向かう際に立ち寄って安居(休憩)したといわれます。真田幸村戦死の地ともいわれており、静かな境内には幸村像と石碑が建てられています。



入口はコンクリートで車イスでも通りやすいね。 / ここは静しいね





さんこうじんじゃ

# 三光神社

調査日：2016年4月11日

近畿日本鉄道ホームページより～大坂城の南東にある丘陵・真田山(宰相山)に行む古社。真田幸村は、この丘陵に大坂城の出城「真田丸」を構築。ここを戦鬪の拠点とし、大坂冬の陣では徳川軍を散々に打ち破ったそうです。境内には、そんな幸村の勇姿を偲ばせる銅像が建てられています。また、銅像のすぐ傍らには、「真田の抜け穴」も。大坂城へ通じる地下道として、幸村が設けたという伝説の痕跡です。真偽の程は分かりませんが、薄暗い穴の中を見ていると、歴史ロマンをかきたてられます。



うえーん!! 階段で行けないよ～!



他にも階段だらけだね。



あ、歩けるボクが代表して見てきたよ。



やはり、軍イストイレはないね。



らやうすやま  
茶臼山

調査日：2016年3月7日  
&6月27日

近畿日本鉄道ホームページより～大坂冬の陣では家康が、大坂夏の陣では幸村が本陣を構えた場所。幸村率いる兵と松平忠直率いる兵が激戦を繰り広げた、夏の陣最大の激戦「茶臼山(天王寺・岡山)の戦い」の舞台です。数では劣る幸村勢でしたが、捨て身の攻撃で敵勢を圧倒したといわれています。水と緑が広がるのどかな風景の中には、戦乱の時代の記憶が宿されています。



かまはらまん えんじゅあん

鎌八幡(円珠庵)

調査日：2016年4月11日

近畿日本鉄道ホームページより～鎌を打ち込むとで悪縁を絶つ、と古くから信仰を集める榎の霊木がある寺院。大坂冬の陣の際、幸村も「鎌八幡大菩薩」と称して鎌を打ち込んで戦勝を祈願し、見事に大勝を収めたそうです。ご神木の西側から寺の北側までつづく石垣(堀の土台)は、元禄時代以前からあったものらしく、出城「真田丸」の名残りはないかといわれています。



撮影禁止だったし、車イスでは入れなかったよ。



さなだまる けんしょうひ  
真田丸顕彰碑

調査日：2016年4月11日



天王寺区ホームページより～  
「真田丸」があったとされる大阪明星学園の地に建つ顕彰碑。  
大阪城の石垣にも使われている岡山県犬島産の自然石花崗岩を使用。足元には豊臣家と真田家の家紋を配し、前面に大型陶板を張り付けている。陶板には大阪城天守閣所有「大坂三郷町絵図」「大坂冬夏陣立図」のうち「冬の陣図」、東京国立博物館所有「大坂冬の陣国屏風」なども表示し、それらの資料から慶長19年(1614)の大坂冬の陣で奮闘した真田幸村と「真田丸の戦い」や大坂城の出城として築かれた「真田丸」について解説しており、冬の陣の際の豊臣軍・徳川軍の陣立ての様子も見る事ができる。

してんのうじ  
四天王寺庚申堂

調査日：2016年6月29日

大阪市交通局ホームページより～真田十勇士伝説が残る。夏の陣の時、ここに真田幸村が伏兵をおいて、十勇士の一人穴山小助を自らの影武者として出陣させたという話の。



この入口は階段で無理だね。



ここも段差があるよ。



ここはスロープがあって入れるね。



石畳だね。少しガタガタするかな。



溝があるので特に手動車 イスは要注意だね。



階段で上がれないね。



しんがんじ

# 心眼寺

ちょうさび ねん がつ にち  
調査日：2016年3月7日

近畿日本鉄道ホームページより〜1622年、幸村と嫡男の幸富（大助）の供養のため、真田丸の跡地に創建された寺。境内には幸村ゆかりの「鎧掛けの松の木」がありましたが、1945年の大阪大空襲の際に焼失してしまったそうです。門前には真田幸村出丸城跡の石碑があるほか、境内には400回忌に際して2014年に建立された幸村の墓碑もあります。



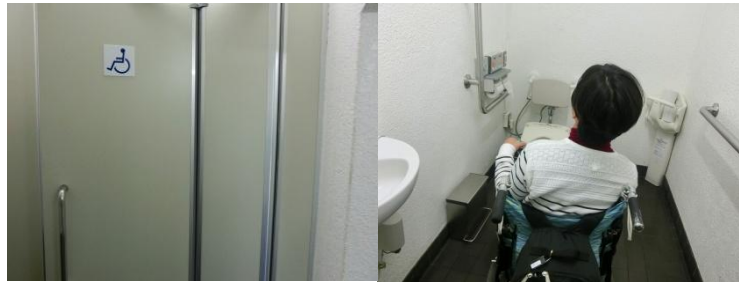
入りぐち くろま ちんだんい  
入口もフラットで車イスでも問題ないね。



ちゅうおう いし つうろ くろま とお  
中央に石の通路があって車イスでも通りやすいね。



くろま  
車イストイレもあるね。



さなだゆきむらしょせんしょうりのひ

# 真田幸村緒戦勝利之碑

ちょうさび ねん がつ にち  
調査日：2016年11月14日



きんてつおおたかうえほんまちえき / うえほんまち まえ  
↑近鉄大阪上本町駅 / 上本町ハイハイタウン前→





おおさかじょう  
大阪城

ちょうさび ねん がつ にち  
調査日：2016年4月4日

近畿日本鉄道ホームページより一幸村が命をかけて守ろうとした巨大な城。1614年に  
大坂冬の陣が勃発した際に、蛸居先の丸度山から入城、城の南方に砦「真田丸」を  
築き、徳川軍を手玉に取りました。現在、天守閣の中は博物館施設となっており、  
豊臣家や大坂の陣について学ぶことができます。



桜がきれいだね。



西の丸庭園、入口も車イスで大丈夫だね



大阪城 公園内には複数箇所、車イス用トイレがあるよ。

触知案内図もあるね。



真田幸村になりきたよ！天守閣もエレベーターがあって車イスでも大丈夫だよ。





ながはら ひらの  
長原～平野エリア

さなだゆきむらきゆうけいじよ

# 真田幸村休憩所

ちようきび ねん がつ にち  
調査日：2016年4月25日

ひらのく くに おしょう さなだ ゆきむら おおさか なつ しん みなみかわらち こんだ ほんめい  
平野区ホームページより～國の武将真田幸村は、大坂夏の陣のおり、南河内拳田方面に  
おいて徳川方の伊達正宗軍と一戦を交えた後、古市街道を経て大坂城へ帰城する途中、こ  
の地に休憩し、志紀長吉神社へ戦勝を祈願すると共に、軍刀を一振り六文銭の軍旗を  
奉納した。現在、休息所跡には自然石が建てられ、その裏側には幸村の句が刻まれ往時を  
しの 偲ばせる。



はい 入るには、段差や階段があるね。

しきながよしじんじや

# 志紀長吉神社

ちようきび ねん がつ にち  
調査日：2016年4月25日

ひらのく おおさか なつ しん とよとみかた おしょう さなだ ゆきむら しんじや じけん ぐんき ほうろう せんしやう きがん つた じけん たい し  
平野区ホームページより～大坂夏の陣のとき、豊臣方の武将真田幸村がこの神社に刀剣と軍旗を奉納して戦勝を祈願したと伝えられ、刀剣は第2次  
世界大戦後、占領軍の命令で没収されたが、軍旗は今も神社に保存されている。麻布で、「真田の六文銭」がくっきりと描かれている。



おお とりい  
大きな鳥居だね

コンクリートで進みやすいね、



ひじりぐら じぞうどう

# 樋尻口地蔵堂

ちようきび ねん がつ にち  
調査日：2016年5月23日

しんぐん とくかわ いとやす ひらの  
ゆかりの地マップより～進軍してくる徳川家康が平野  
周辺で休息をとると予測した幸村がここに地雷をしかけ  
たと伝わる。





ひらのごう ひ じり ぐら もん あと

# 平野郷樋尻口門跡

ちょうさび ねん がつ にち  
調査日：2016年5月23日

平野区ホームページより～道明寺合戦に  
 敗北した真田幸村ら豊臣軍は、大坂城へと  
 退却した。豊臣軍を追い、進軍する徳川  
 家康が平野で休息をとると予想した幸村は、  
 樋尻口の地蔵堂に地雷を仕掛けた。  
 案の定、家康が現れ、地雷が爆発しようとした  
 とき、家康は小便がしたくなってその場を離れ、  
 丸死に一生を得たといわれる。



ぜんこうじ

# 全興寺

ちょうさび ねん がつ にち  
○調査日：2012年5月28日 →アクセスニュースNO82より参照

平野区ホームページより～真田幸村が樋尻口の地蔵堂に仕掛けた地雷により、飛来してきたという伝説をもつ「首の地蔵尊」がある。



くるま イスでも入れるね。



こちらの入口も大丈夫だよ。



くるま イストイレもあるね。



お賽銭箱まで階段があるね。



地獄堂の入口幅はギリギリだね。



ほとけのくにの入口は階段だね。





たまてやま どうみょうし こんだ  
玉手山〜道明寺〜誉田エリア

こんだ はらまんぐう

# 誉田八幡宮

ちやうきび ねん がつ にち  
調査日：2016年6月20日

きんさ にほん てつどう ホームページより〜大坂夏の陣の際、豊臣方の武将・薄田隼人が陣を布いた近くに鎮座しています。豊臣秀頼による社殿の再建中に大坂の陣が勃発してしまったため、拝殿の天井板はいまだに未完成のままとなっています。



こちらから入るには段差があるね。



こちらはそのまま入るね。



おうじん てんのうりょう こふん

# 忘神天皇陵古墳

ちやうきび ねん がつ にち  
調査日：2016年6月20日

きんさ にほん てつどう ホームページより〜5世紀初頭に築造されたといわれる、大仙陵古墳に次いで2番目に大規模な前方後円墳。墳丘長は約425m、後円部の直径は約250m・高さ約35m、前方部の幅は約300m・高さ約36mという巨大な古墳で、築造時に使用した土の量は約143万立米にのぼります。大坂夏の陣では、この巨大古墳の近くで幸村と伊達政宗が熾烈な戦いを繰り広げたといわれています。



車イス利用者他の駐車スペースがあるね。





# 【大坂の陣】ゆかいの地へ、いざ出陣じゃ!! 2016春～冬の陣

ウイペディアより～大坂の陣は、江戸幕府と豊臣家(羽柴宗家)との間で行われた合戦。慶長19年(1614年)の大坂冬の陣と、慶長20年(1615年)の大坂夏の陣から成る。大坂の役とも呼ばれる。

## 大坂夏の陣 道明寺合戦記念碑(藤井寺市)

調査日: 2016年5月16日

近畿日本鉄道ホームページより～2014年11月、道明寺まちづくり協議会により道明寺駅前に建立された記念碑。大坂夏の陣において豊臣方と徳川方の精鋭部隊が激突し、歴史を大きく動かした「道明寺合戦」の戦場跡としての歴史を伝えています。



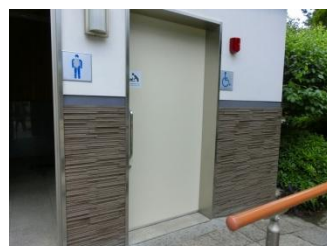
## 道明寺天満宮(藤井寺市)

調査日: 2016年5月16日

近畿日本鉄道ホームページより～豊臣方の先鋒・後藤又兵衛(基次)らが奮戦のち戦死し、幸村も好敵手である伊達政宗とのぎを削った「道明寺合戦」。熾烈な戦いの舞台を見守るように、道明寺天満宮は静かに佇んでいます。境内は約80種・約800本の花が咲き誇る梅の名所として知られるほか、宝物館には菅原道真公の遺品など国宝6点・重要文化財2点などが所蔵されています。



お賽銭箱までも段差があるね。手作りスロープがあったよ。



溝には要注意だね。

車イストイレがあるね。これなら安心してお参りできるね



たまてやま こうえん

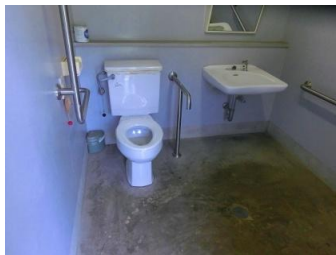
# 玉手山公園 (柏原市)

調査日：2016年5月16日

近畿日本鉄道ホームページより「**天明寺合戦**」で徳川方の大軍を相手に果敢に戦った、後藤又兵衛(基次)の最後の地。かつては大阪城まで見渡せたという丘陵の頂上付近には、又兵衛の石碑のほか、両軍戦死者の供養塔もあります。現在は柏原市立公園となっており、梅や桜、ツツジや紅葉など、四季折々の花を眺められるほか、アスレチック風の遊具もある市民の憩いの場となっています。



入口に段差等はないね。



玉手山公園は、残念ながら階段等が多くていけない場所が多いよ(泣)



車イストイレがあるね

あんどう まさ つぐ ぼ しょ

# 安藤正次墓所 (大阪市平野区)

調査日：2016年5月23日

平野区ホームページより「安藤正次は、大坂夏の陣のとき、御旗奉行として徳川秀忠に直属した。秀忠の使者として、前田利常、本田康紀の両軍に、敵陣へ迫るようにと伝えた。その際、数騎の敵兵に出会い、深手を負った。宿所である平野の願正寺に送られて、傷の療養に努めていたが、再起不能を悟り、自害した。」



ほんまらばし

# 本町橋 (大阪府中央区)

調査日：2016年11月28日

ウイキペディアより「本町橋は、大阪府中央区の東横堀川に架かる本町通の橋、または、同橋東詰付近の町名。」

現在の橋は大正2年(1913年)に架け替えられたもので、大阪市内では現役最古の橋となっている。

最初の橋は、豊臣秀吉が大坂城を築城し、東横堀川を開削したときまで遡る。年代は特定されていないが、天正13年(1585年)に東横堀川が開削されてからあまり経っていなかったと考えられている。

大坂の陣(とくに冬の陣)の時は、戦略上の重要地点であったとされ、橋周辺で蜂須賀隊と塙直之が激突している。





じょうこうじ  
常光寺 (八尾市)

ちょうさび ねん がつ にち  
調査日: 2016年11月14日

近畿日本鉄道ホームページより〜行基による創建と伝えられ、河内音頭発祥の寺としても知られる名刹。本尊は小野篁の手によるという地藏菩薩で、「八尾地藏」として地元を中心とする多くの人々から信仰を集めています。大坂夏の陣では、徳川方の藤堂高虎が方丈の縁側にて長宗我部部隊の首実検をしたと伝えられています。境内の墓所には、藤堂家家臣七十一士の墓が建立されています。



階段だね。



えーん、上がれないよー！



あっ、でもこっちの入口からなら入れるね。



お賽銭箱まで段差があるね。



溝にご注意。



トイレは車イスでは無理だね

しぎの こせんじょう ひ

鳴野古戦場碑 (大阪市城東区)

ちょうさび ねん がん にち  
調査日: 2016年12月5日

城東区ホームページより大阪冬の陣で有名な鳴野・今福の合戦は、付近一帯の城東区域を主戦場としたものでした。

当時この辺りは、旧大和川の支流が分流していて、湿地帯や水田が多く戦闘には不向きでした。慶長19年(1614年)11月26日未明、この辺りを防御していた西軍(大坂方)の軍勢を東軍(徳川方)佐竹義宣・上杉景勝6500人の軍勢が攻撃(戦闘が始まりました)。

戦いは双方の銃撃戦となり、合間に堤防上での激しい遭遇戦があり、29日まで一進一退を繰り返しました。このとき、援軍に来た木村重成や後藤基次(又兵衛)の軍勢との乱戦の末、東軍がこれを破ったと伝えられています。

明治・大正の有名な漢学者で、新聞記者でもあった西村時彦氏の撰になる碑が、大正9年(1920年)に城東小学校の校庭に建てられました。





じんじや  
**やつるぎ神社** (大阪府東成区)

ちようさび ねん がつ にち  
 調査日：2016年12月5日

東成区役所ホームページより～伊弉册尊(いざなみのみこと)ほか五柱を奉斎する旧大今里村の氏神で、用明天皇2年の創建と伝えられます。石山合戦の際、兵火にあいましたが再建され、元和(17世紀前期)以降大坂城代就任と領内巡視の時は、必ず社参することを恒例とした社で、熊野権現と称し、明治5年(1872)に現社号に改め、同44年(1911)旧東今里村民神八剣神社を合祀しました。



いりぐち だんさき  
 入口に段差はないね。



この先にある一般トイレ車イスでは無理だね



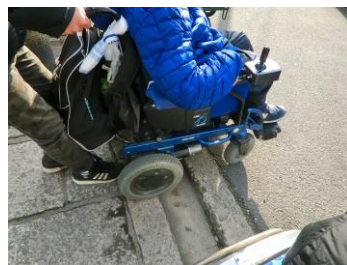
くまの だいじんぐう  
**熊野大神宮** (大阪府東成区)

ちようさび ねん がつ にち  
 調査日：2016年12月5日

東成区ホームページより～伊弉册尊ほか五柱を奉斎する旧大今里村の氏神で、用明天皇2年の創建と伝えられます。石山合戦の際、兵火にあいましたが再建され、元和(17世紀前期)以降大坂城代就任と領内巡視の時は、必ず社参することを恒例とした社で、熊野権現と称し、明治5年(1872)に現社号に改め、同44年(1911)旧東今里村民神八剣神社を合祀しました。



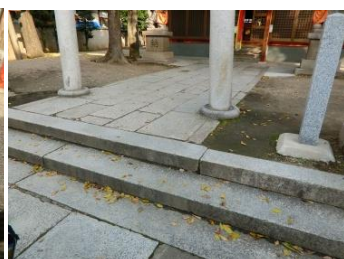
みぞがあるね。つまずかないようにご注意。



こちらの入口も溝があるね。



スロープがあるね。



ここは階段だね

きなた ゆきむら ち おおさか  
 真田幸村ゆかりの地、大坂の  
 陣ゆかりの地、  
 車イスでも歴史めぐりに  
 出陣 できたらいいね(b y  
 みっちー)

